

# 栃木中央地域会議だより

平成27年8月創刊号(第1号)



## 第1回・第2回 栃木中央地域会議を開催

今年度からスタートした「新たな地域自治制度」による第1回栃木中央地域会議が、6月3日(水)に栃木市役所庁議室にて開催されました。会長に佐山正樹委員、副会長に石河不砂委員を選出し、地域自治や予算提案についての制度説明が行われました。

第2回地域会議は、6月25日(木)に栃木市役所正庁にて開催され、栃木中央地域における課題や対応策などについて話し合われました。

### 新たな地域自治制度とは?

合併に伴う地域自治制度に代わり、「新たな地域自治制度」が始まりました。この制度は積極的な地域自治制度とも言うべきもので、市の独自条例(地域づくり推進条例)により新たな地域自治の形として地域の活動を応援していくものです。地域住民のまちづくりへの思いを喚起し、自主的な地域づくりを様々な支援していくものです。

### 地域会議とは?

「新たな地域自治制度」の大きな柱の一つが、合併前の旧町に置かれていた従来の「地域協議会」に代わり、市内全域を8つのエリア(右図参照)に分け、それぞれに「地域会議」を設置しています。

「地域会議」は、各地域の住民代表組織として、地域内の各種団体から推薦された方、学識経験者、公募で選ばれた方を委員として構成しています。

### 栃木中央地域会議とは?

「栃木中央地域会議」は、栃木地域の内、大宮・国府地区の「栃木東部地域会議」、皆川・吹上・寺尾地区の「栃木西部地域会議」、両地域以外の地域となります。



# 地域会議委員の紹介

地域会議は、栃木中央地域内の公共的団体等が推薦する方11名(1号委員)、学識経験を有する方3名(2号委員)、公募に応じた方4名(3号委員)の計18名で構成されています。

なお、任期は平成29年3月31日までです。  
(敬称略・順不同)



副会長 石河 不砂  
【学識経験者】

生まれ育った東京を離れ、早40年が過ぎました。「栃木に住んでよかった。これからもずっと住み続けたい」と思っています。誰にとっても更に住みよい笑顔あふれる街にするため、少しでもお役に立てればと思います。



## 会長 挨拶

栃木中央地域会議 会長 佐山 正樹  
【学識経験者】

この会議の説明を聞いて、これまでにない新しい試みになるのではないかと思いました。すでに様々な団体が、地域をより良くするために、長い活動を続けています。地域の自治会、ボランティア、NPOなどが街の安全や活性化、教育や福祉のために汗を流しています。それぞれはテーマ、課題に深く関わっているために、他の団体の活動を意外に知らないことが多いのです。地域で活動するこうした人々や、興味を持ち参加しようとする人が話し合うことは大きな意味があると思います。お互いを知り、協力する機会を得た、輪が広がったと考えたいですね。取り組んでいることや新企画に、優先順位をつけることは難しいでしょう。限られた予算で可能なことは少ないかもしれませんが、地域の住民が夢を語り合い、本質的な課題を明らかにすることで、長期的な視点に立った計画も可能になってくると思います。お互いに協力する機会を増えるのではないのでしょうか。

従来、行政の地域課題解決のための計画、予算、実施について、住民が深く関わることは多くはなかったのではないのでしょうか。各地域は時代の急激な変化と高齢化のなかで、様々な問題に直面しています。行政と市民は協力し、住民が互いに協力しあって、地域のために積極的に関わり、問題の解決を図る時代になったと思います。



青木 良一  
【団体推薦】

栃木中央地域に賑わいを創出できるようなイベントを企画したいと存じます。これまで栃木市にはなかったようなイベントです。栃木市民はもとより、近隣の方々もたくさん来ていただけるイベント企画を心がけます。



白井 義雄  
【団体推薦】

自治制度の主旨にのっとり、栃木地域に住んでいて良かった、これからも住み続けたいとみんなが思えるような元気な地域づくりのお役に立てますよう、努めてまいります。



大浦 兼政  
【公募】

私はこの度、公募により参加させていただいております。色々な組織の代表ではなく、市民の生活の中から聞こえてくる問題や意見を、縛られることなく自由な発想で、会議の場で提案していきたいと考えています。



大波 龍郷  
【学識経験者】

高校時代に栃木のまちが好きになり、3年前から栃木での暮らしを楽しんでいます。高校生が遊び学べるまちづくり、空き家の活用、若者の定住・交流につながる事業を提案し、地域と若者の関係を育んでいきたいです。



鬼塚 修  
【公募】

これからの世代の為、日頃より考  
えておりました。夢が持てる、人の  
集まる街、を創るためのアイデアを  
提案いたし、実現していきたいと思  
い応募しました。微  
力ながら貢献できればと思ってお  
ります。



木村 隆夫  
【団体推薦】

私は認定農業者連絡協議会より選  
出され、会議に参加いたしました。  
地域会議をより一層学習し、地域  
の皆様と話し合いによって貢献でき  
るようになりたいと思  
います。また、農業、環境等に力  
を入れ会議に参加  
していきたいと思  
います。



下田 明範  
【公募】

2人の娘と4人暮らし、近隣の皆  
様に支えられながら楽しく・快適な  
生活をさせていただいております。  
この会議を機に、子ども達に明る  
く元気な街を残すた  
めに何ができるのかを考え、実  
践していきたいと思  
います。



杉山 栄  
【団体推薦】

とちぎ蔵の街シニアクラブ(旧  
老人クラブ)の杉山です。  
今、少子高齢化・人口減少が進  
展する中、地域で様々な問題や課  
題が生じており、この  
会議を通じて、微力ではありますが  
皆さんのご意見を  
いただきながら努めて参りたいと思  
います。



鈴木 林 彌  
【団体推薦】

栃木市地域づくり推進条例が4月  
に施行され、中央地域から地域議  
員として選ばれ、市が目指す新  
たな地域づくりに市民のために頑  
張ります。均衡ある発  
展のため、心をひとつにして地  
域の方が自ら地域に誇  
りの持てる地域づくりに尽力し  
てまいります。



高瀬 淳  
【団体推薦】

「私たちの地域の事は私たち自  
身  
が考える」人が多い地域ほど成熟  
した地域だと思います。  
この考えの中、中央地域の問題  
を一生懸命考えるき  
っかけをつくります。是非皆  
さまの意見を反映して  
いきます。一緒に考えましょ  
う。



中尾 秀美  
【団体推薦】

この度、栃木地区子ども会育成  
会  
連絡協議会から推薦をいただき、  
委員となりました。少しでも多  
くの市  
民の皆さんの声を聴いて地域  
貢献活動に取り組みで  
いきたいと思っております。  
皆さまどうぞよろしく  
お願い申し上げます。



町田 爽起夫  
【団体推薦】

旧栃木市の中心であった中央地  
区  
にもドーナツ化現象が見られま  
す。  
人口の減少、見込めない税金な  
ど課  
題は多いと思いますが、右肩  
上がりだけでなく、現在の  
文化・民生を育てていく、そ  
んなあったか栃木のお  
手伝いできればと考えていま  
す。



村田 弘子  
【団体推薦】

この度栃木地区女性会から選  
出さ  
れ、委員を務めることになり  
まし  
た。特に女性の視点からのまち  
づく  
りを心がけたいと思  
います。



山口 真右  
【団体推薦】

少子高齢化、人口減少が進む中  
で、私達の周辺環境は益々厳  
しくな  
ると感じています。そのような  
状  
況  
下、我がまちを発展させていく  
ことは容易なことでは  
あり  
ませんが、当会議を通じて地  
域の  
発展に少しでも  
お役  
にたてるよう頑張ります。



若林 芳明  
【団体推薦】

栃木市の新たな自治制度にお  
い  
て、市内各地域が抱えるさま  
ざま  
な  
問題点や課題、また改善点等  
を  
栃木  
中央地域会議の委員として、  
市  
民の代表として、一つ  
づつ  
解決していきたいと思  
つ  
ています。



渡邊 一浩  
【公募】

栃木市に生まれ育てていただ  
いた  
ご恩を少しでもお返ししたい  
と  
存  
じます。これからの日本は地  
域  
創生に  
委  
ねられており、地域におられ  
る  
方々の多くの意見を  
聴  
き、小さなことを少しずつ  
積  
み上げていきたいと思  
つ  
ています。

# 新たな地域自治制度って何だろう？

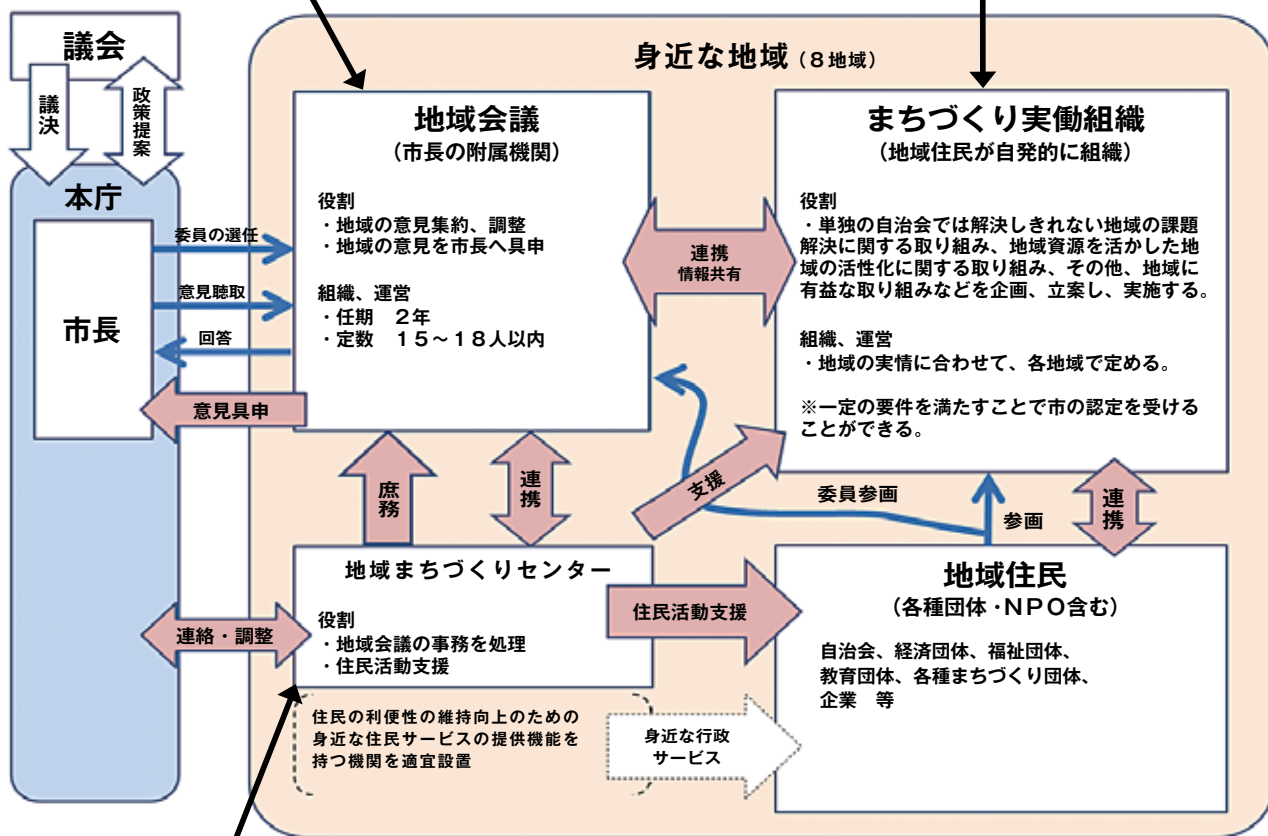
市長の附属機関としての「地域会議」と地域住民が自発的に組織する「まちづくり実働組織」が交流・連携し、行政組織としての「地域まちづくりセンター」がサポートすることにより、各地域が抱える様々な課題を協働で解決していく仕組みです。

## ◎地域会議

主な役割として、地域の課題解決や活性化のため、事業計画をつくり、一定の枠内で予算の使い道を市長へ提案することができます【地域予算提案制度】。市長は、地域会議の提案を予算案に反映し、市議会の議決を経て、市が翌年度に事業を実施します。また、身近な地域のまちづくりの推進に必要な事項について、市長への提案を行ったり、市長からの問いかけに対して意見を述べるすることができます。

## ◎まちづくり実働組織

住民が自発的に組織する任意組織で、地域内の自治会や各種団体や住民などが構成員となり、地域会議と協力連携しながら単独の自治会等では解決できない地域の問題の解決や地域活性化のための実践活動に取り組みます。また、一定の要件を満たすことで市長の認定を受けると「認定まちづくり実働組織」となり、市の助成を受けることができます。



## ◎地域まちづくりセンター

地域会議とまちづくり実働組織が連携して活動していくための行政側の組織として各地域に設置しております。この組織は地域会議の事務局を担当するとともに「まちづくり実働組織」の運営支援など、住民主体の地域づくりを支援します。

栃木中央地域会議だより創刊号(第1号)  
平成27年7月17日発行  
〒328-8686 栃木市万町9番25号  
栃木中央地域まちづくりセンター  
(総合政策部地域まちづくり課)  
(電話) 0282-21-2331  
(FAX) 0282-21-2671  
(E-mail) chiiki@city.tochigi.lg.jp

## お知らせ

○今後の地域会議開催予定  
【日時】第3回 平成27年7月23日(木) 午後6時30分～  
第4回 平成27年8月27日(木) 午後6時30分～  
【場所】栃木市役所 正庁  
※会議は傍聴できますので、ご希望の方は開始時間までに会場へお越しください。なお、会議は内容により非公開になる場合があります

◆地域会議の情報は、栃木市公式ホームページでご覧いただけます。